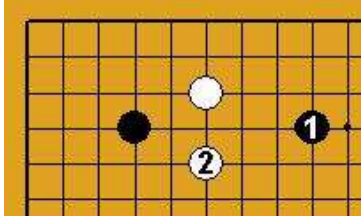


ケイマ両ガカリ（序）

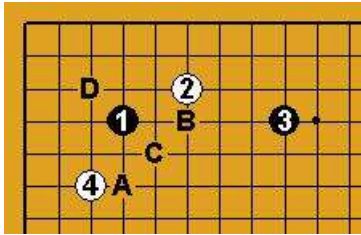


テーマ図左

今回から「両ガカリ」された場合の対策に入ります。（テーマ図左）の②一ケントビを見てホッとされ、（テーマ図右）の②両ガカリを見て緊張される方が多いのではないのでしょうか。しかしこれは白のほうも同じこと。一ケントビは盤上に二つしかない白石がガッチリつながっているのに対し、両ガカリはいきなり離ればなれになるのです。しかも次は黒の手番です。苦しいのは白のほうかも知れません。

この講座が終わる頃には両ガカリを見たら“シメタ”と思うようになってください。両ガカリされた場合の黒の応手は A ツケか B ツケです。C コスミもありますが、アマイとかユルミとか言われています。D コスミは左辺星あたりにも黒石があって、白が C とカケてくればどちらかをデギろうというものです

が、本図では互先を想定していますので省略します。



テーマ図右